

「マルタ・アルゲリッチの日」

宣言書

一、マルタ・アルゲリッチ氏は、大分県はじめ世界各国での活動を続けています。平成10年（1998年）の世界で初めてアルゲリッチの名前を冠した第1回別府アルゲリッチ音楽祭「MUSIC FESTIVAL Argerich 's Meeting Point～アルゲリッチの出会いの場」から、長年にわたり、世界一流の音楽家と共に来県し大分をふるさとのように愛していただき、そして、大分の名を世界に広めていただきました。

一、音楽祭では、若手音楽家の育成にも力を注ぎ、数多くのプロ演奏家が巣立つなど、世界第一級の音楽環境を創出しています。また、子どもたちの豊かな心の成長を願って開催する「ピノキオコンサート」は、同氏の支援を受けて、県内各地の多くの子どもたちが参加してきました。

一、災害復興にもご尽力いただきました。東日本大震災の際には、パリでの復興祈念コンサートの開催や、本県が被災した熊本地震の際も、「こういう時だからこそ、開催を」と来日を即断し、人々に勇気と希望を与えていただきました。

一、故 椎木正和氏により、平成27年（2015年）に寄贈された「しいきアルゲリッチハウス」では、今や一流の演奏家による室内楽が定期開催されるなど、本県の芸術文化の新たな拠点として、広く県民に親しまれています。

一、平成30年（2018年）12月には、音楽祭初のヨーロッパ公演をイタリア・ローマにて開催し、本県とローマとの交流もスタートしました。

大分県は、これまでのアルゲリッチ氏の歴史的な功績を県民をはじめ世界の人々と共に称え、地方から世界に向けた音楽祭を通じて、芸術の役割や、寛容と共生の精神を全世界に発信していきたいと考えています。

そして、アルゲリッチ氏と共に大分県は、誰もが安心できる安寧な社会の実現へ向けて努力するとともに、この精神を未来に伝えていきます。

ここに、80歳の誕生日を記念して、6月5日を「マルタ・アルゲリッチの日」として制定します。

令和3年5月6日 大分県知事 広瀬 勝貞